

巻機：登川 米子沢（沢登り）

- ◆日程 2019年10月5日（土）
- ◆メンバー L：林、岡村、須田、小山田、大塚、伊藤、佐藤俊
- ◆天候 雨のち曇り

前日発 8:30PM より岡村車で須田、伊藤、佐藤をピックアップして東名高速に乗り海老名 SA で林車と合流、7人が揃った。今さんは座骨神経痛がひどくなり断念、手土産を持参して見送りに来たとの事だ。頂いたシュークリームを車内でほおばりながら東名に行く、途中工事渋滞で時間をロスした、関越トンネルを抜けると雨が降ってきた、塩沢石打 IC で降り上越線の石打駅で駅泊をした、3 畳ほどの畳間がある、この上で 3~4 人は寝られる、1:30AM 就寝。

翌朝 4:50 起床、夜の間降雨、巻機山入り口である桜坂駐車場に車を止めスムーズな移動で入渓した、しばらくゴロ歩きだが水しぶきを伴う流れに少し不安になる。川幅 5メートル程の渡渉を行う、足首の上まで水に浸かる位だが流れが速く慎重になる、こののち膝上の渡渉をするが足を取られて泳ぐことになった、ロープ確保が無ければ流された。

標高 1000m から本格的な遡行となった、いきなり大滝 40m の巻きから入る、その後 10m 級のスラブ滝をいくつか越えナメの遡行を繰り返す、ナメもなるべく水流を避け慎重に進んだ。日影沢の分岐の先でスラブ状滝が越えられそうになかった、右壁から大きく巻いてゴルジュを突破することにした、今年最大のヤブ漕ぎだ、途中で疲れて休む、またヤブ竹を漕ぐ、心が滅入る、新道が出来たねと誰かが言う。大巻きの結果ゴルジュ先の多段 20m 滝まで出る、フィックスロープで登る、ここからナメの連続、200m はある、遠く巻機山の向こうの空が青い。終了間際の右俣との分岐で休憩、晴れ間が大草原の紅葉を照らす、これが見たかった。（記：佐藤俊）

○今回初めて参加した伊藤元さんのコメント

気軽に楽しめる沢ということで初参加をしましたが、当日未明まで続いた雨により増水し、かなりの水量の中タフな沢登りとなりました。特に大きく高巻きした藪こぎは踏み跡のない急斜面を先が見えないまま進み、なかなか苦労しました。

ロープなどの共同装備は持って頂いたので、今後は装備負担を分担して参加したいと思います。今回はありがとうございました。

CT：桜坂駐車場 6:30 - 1000m分岐 7:20 - スラブ状滝 10:50 - 大高巻き 11:50
-多段 20m滝 13:10 - 15:10 巻機避難小屋 15:30 - 桜坂駐車場 17:50

